

第2回 愛知CUPジュニア フルコンタクト空手道選手権大会

要 項

拝啓 皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、9月24日（祝月）岡崎中央総合公園総合体育館 第1練成道場にて、「第2回愛知CUP
ジュニア フルコンタクト空手道選手権大会」が、開催されることとなりました。
つきましては、公私ご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上、多くの選手
の参加、ご協力のほどお願い申し上げます。

敬具

- 【開催日時】 平成30年 9月24日（祝月）
団体受付・計量 AM 9:00
開会式 AM 10:00
試合開始 AM 10:30
【試合会場】 岡崎中央総合公園 総合体育館 第1練成道場
愛知県岡崎市高隆寺町字峠1番地 TEL(0564)25-7887
【主催】 愛知CUP 大会運営委員会
【参加費】 5,000円 ※お弁当はありません
※スポーツ保険は各自必ず加入しておいてください
【ルール】 JKJO全日本審判機構公認ルールに準ずる（別紙参照）
【階 級】 各クラス初心・初級・上級別
幼年の部、小学生、中学生、各学年別・男女別トーナメント
※参加人数により部門統合有り
【防 具】 ※上級はJKJO指定・推奨品の防具を各自持参
※初心・初級は布製の拳・スネ・ファールカップを各自持参（ニーガード・女子のチェ
ストガード・ファールカップは任意・ヘッドガードは主催者で用意する）
【注意事項】
*セコンド（正装）は2名まで。
*「禁煙」「ゴミ」館内完全禁煙になります。また、ゴミは各自でお持ち帰りください。
*参加選手は勿論、付き添いやセコンドも相手選手や審判員に対する礼節・マナーに充分ご配慮願
います
【申込締切】 平成30年8月12日（日）必着厳守！
※出場申込用紙と出場料を各道場単位でまとめて現金書留にてご郵送ください。
【送付宛先】 〒471-0031 愛知県豊田市朝日町5-33-3 ☎090-3556-3325
愛知CUP大会運営委員会 成田 豪 FAX0561-85-3216

第2回愛知CUPジュニア フルコンタクト空手道選手権大会

出場申込書

平成 年 月 日

大会実行委員長 殿

私議、下記の通り相違なく、本大会のルールに従い正々堂々と競い合うことをここに誓います。

また、本大会中における負傷・事故につきましては、主催者側にその責任の一切を問いません。

団体責任者

印

選手保護者氏名

印

| | | | | | | | | |
|------------|------------------|---|-------|-------|-------------------|-----------|------|--|
| フリガナ | | | | 男・女 | 生年月日 | S H 年 月 日 | | |
| 氏名 | | | | | TEL | () | | |
| 現住所 | (〒 -) | | | | | | | |
| 級段位 | 級・段 | | | 帯色 | 帯 | 年齢 | 歳 | |
| 身長 | cm | | | 体重 | kg | 修業暦 | 年 ヶ月 | |
| 出場クラスに○印 | 初心の部 (上段蹴り無し) | 男 | 幼児年少 | 幼児年中 | | 幼児年長 | | |
| | | | 小学生1年 | 小学生2年 | | 小学生3年 | | |
| | | | 小学生4年 | 小学生5年 | | 小学生6年 | | |
| | | | 中学生1年 | 中学生2年 | | 中学生3年 | | |
| | 初級の部 | 女 | 幼児年少 | 幼児年中 | | 幼児年長 | | |
| | | | 小学生1年 | 小学生2年 | | 小学生3年 | | |
| | | | 小学生4年 | 小学生5年 | | 小学生6年 | | |
| | | | 中学生1年 | 中学生2年 | | 中学生3年 | | |
| 流派名 支部名 | 支部 | | | 所在地 | (〒 -) TEL () | | | |
| 大会 入賞歴 | ① ② | | | | | | | |

※入賞歴を記入する事により、有力選手(シード)の対象者となります。 * ゼッケンは当日配布いたします

※3名以下のエントリーは、ワンマッチ、部門・クラス統合になる場合があります。

愛知 CUP ジュニア Carlson 空手道選手権大会 試合規約

試合時間

| クラス | 本戦 | 延長戦 | 再延長戦 |
|------|-------|-----|---------|
| 初心の部 | 1分 | 1分 | × |
| 初級の部 | 1分30秒 | 1分 | × |
| 上級の部 | 1分30秒 | 1分 | 決勝のみ 1分 |

防具は布製に限る (高校生はビチンググローブ) ヘルメットは主催者が用意 (個人の物も使用可)

| クラス | ヘルメット | 手 | 腰 | 膝 | フットロック | チェストガード (女子) |
|-----|-------|---|---|----------|--------|--------------|
| 幼年 | ○ | ○ | ○ | △学年間わず自由 | ○女子は任意 | △学年間わず自由 |
| 初心 | ○ | ○ | ○ | △学年間わず自由 | ○女子は任意 | △学年間わず自由 |
| 初級 | ○ | ○ | ○ | △学年間わず自由 | ○女子は任意 | △学年間わず自由 |
| 上級 | ○ | ○ | ○ | ○小3以上義務 | ○ | ○小3以上義務 |

*テーピングは原則的に禁止するが、大会運営上の許可があれば認められる。

審判判定基準

1. 判定基準 (なめぐ注意の関係) ※注意は相殺される

| | 一本勝ち | 技あり1 | 技あり2 |
|-------|------|------|------|
| 注 意 1 | | | |
| 注 意 2 | | | |
| 注 意 3 | | | |
| 注 意 4 | | | |

2. 判定優先順位

一本 (失格) > 技あり > タメシ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

一本勝ち

- ア. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手が一瞬でもダウンしたとき。
- イ. 相手選手が3秒以上意識を喪失したとき。
- ウ. 「技あり」2本を奪ったとき。

技あり

- ア. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、相手選手の動きが一時的に止まった時。
- イ. 相手選手が一時的に意識を喪失したとき。
- ウ. 蹴りが上限にリーチアップしたとき。(ガードしているも、タメシがあった場合も技あり)
- エ. 相手選手を宙に浮かせ背中から転倒させたとき。
- オ. 下段蹴りで足を引きずったり、膝部へのタメシで体がくの字になったとき。

判定

ア. 一本勝ち、失格がない場合は、審判 5 名 (3 名) のうち3名 (2 名) 以上の判断を有効とする。

- イ. 最終延長戦は優先順位を見出し必ずどちらかに決める。
- ウ. 注意がある場合は、判定基準に基づき、

反則

- ア. 拳・手刀・實手・肘等手技による顔面殴打及び首への攻撃。手先が露く離れても反則となる場合も有り得る。ただし、顔面を牽制することは自由である。
 - イ. 急所 (下腹部) への攻撃。
 - ウ. 頭突き。
 - エ. 掴み (連撃、手足を掴む) や掛け (肩・首・頭部・体への手掛け)。
 - オ. 押し。(掌底・拳・頭・体等によって相手を押し込んだ場合、片手で押しても反則である)
 - カ. 押さえ。(手・腕で押さえる)
 - キ. 抱え込み。(先に抱え込んだ方が反則である)
 - ク. 頭、体を付けての攻撃。
 - ケ. 背後からの攻撃。
 - コ. 倒れた相手への攻撃。
 - ク. 掛け逃げ。(技を仕掛けているように見せて逃げる)
 - シ. 関節蹴り、投げ技。
 - ス. 何處も場外に逃げた場合。
 - セ. 上段への蹴蹴り (中学生上級クラスのみ有効)
 - ソ. 悪質な試合態度とみなされたとき。
 - タ. 「止め」後の攻撃。
 - チ. 以上の他、審判員が特に反則とみなした場合。
- 注意
- ア. 選手は反則を犯した場合「注意 1」が与えられる。
 - イ. 故意、悪質な反則とみなされた場合、または反則によるタメシが大きい場合は1回で「注意 2」なる場合がある。
 - ウ. 「注意 4」で失格となる。
- 失格
- ア. 試合中審判員の指示に従わない場合。
 - イ. 試合時刻に遅れた場合。
 - ウ. 一度の反則でもフターストップになった場合。
 - エ. 相手を振る舞い、とくに悪質な反則、とくに悪質な試合態度とみなされた場合。
 - オ. 「始め」から判定が決まるまでに喧嘩した場合。
 - カ. 計量時、規定体重をオーバーしていた時。
 - キ. 「注意 4」になった場合。